

# 国債、異次元緩和の後遺症

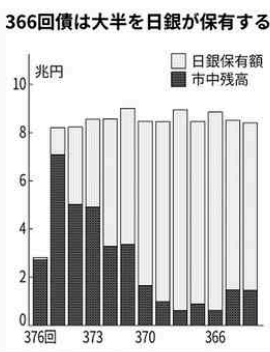
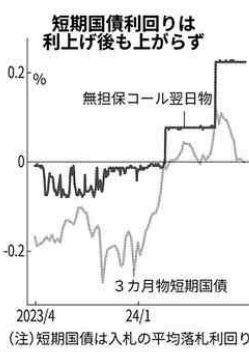
## 現物干上がり、裁定に影

日銀の黒田東彦前総裁が退任して1年半が経過した。日銀の債券市場への関与は緩やかながらも弱まりはじめる。債券市場は一見すると機能を果たしているように見える。ところが異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。

### Market Beat

「この銘柄はむやみに触ってはいけないという雰囲気が出ていますね」。ある債券ディーラーが話すのが、10年債の366回債と呼ばれる銘柄だ。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる

「チーベスト」と呼ばれる銘柄だ。12月から取引の中心となる25年3月に満期を迎える先物は、この366回債がチーベストになる。ここで366回債の品不足が問題になる。日本の国債市場に詳しい東大の服部孝洋特任准教授は「国債の現物と先物の裁定が十分になされなくなっている。異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる



「チーベスト」と呼ばれる銘柄だ。12月から取引の中心となる25年3月に満期を迎える先物は、この366回債がチーベストになる。ここで366回債の品不足が問題になる。日本の国債市場に詳しい東大の服部孝洋特任准教授は「国債の現物と先物の裁定が十分になされなくなっている。異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる

「チーベスト」と呼ばれる銘柄だ。12月から取引の中心となる25年3月に満期を迎える先物は、この366回債がチーベストになる。ここで366回債の品不足が問題になる。日本の国債市場に詳しい東大の服部孝洋特任准教授は「国債の現物と先物の裁定が十分になされなくなっている。異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる

「チーベスト」と呼ばれる銘柄だ。12月から取引の中心となる25年3月に満期を迎える先物は、この366回債がチーベストになる。ここで366回債の品不足が問題になる。日本の国債市場に詳しい東大の服部孝洋特任准教授は「国債の現物と先物の裁定が十分になされなくなっている。異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる

「チーベスト」と呼ばれる銘柄だ。12月から取引の中心となる25年3月に満期を迎える先物は、この366回債がチーベストになる。ここで366回債の品不足が問題になる。日本の国債市場に詳しい東大の服部孝洋特任准教授は「国債の現物と先物の裁定が十分になされなくなっている。異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる

「チーベスト」と呼ばれる銘柄だ。12月から取引の中心となる25年3月に満期を迎える先物は、この366回債がチーベストになる。ここで366回債の品不足が問題になる。日本の国債市場に詳しい東大の服部孝洋特任准教授は「国債の現物と先物の裁定が十分になされなくなっている。異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる

「チーベスト」と呼ばれる銘柄だ。12月から取引の中心となる25年3月に満期を迎える先物は、この366回債がチーベストになる。ここで366回債の品不足が問題になる。日本の国債市場に詳しい東大の服部孝洋特任准教授は「国債の現物と先物の裁定が十分になされなくなっている。異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる

「チーベスト」と呼ばれる銘柄だ。12月から取引の中心となる25年3月に満期を迎える先物は、この366回債がチーベストになる。ここで366回債の品不足が問題になる。日本の国債市場に詳しい東大の服部孝洋特任准教授は「国債の現物と先物の裁定が十分になされなくなっている。異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる

「チーベスト」と呼ばれる銘柄だ。12月から取引の中心となる25年3月に満期を迎える先物は、この366回債がチーベストになる。ここで366回債の品不足が問題になる。日本の国債市場に詳しい東大の服部孝洋特任准教授は「国債の現物と先物の裁定が十分になされなくなっている。異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる

「チーベスト」と呼ばれる銘柄だ。12月から取引の中心となる25年3月に満期を迎える先物は、この366回債がチーベストになる。ここで366回債の品不足が問題になる。日本の国債市場に詳しい東大の服部孝洋特任准教授は「国債の現物と先物の裁定が十分になされなくなっている。異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる

「チーベスト」と呼ばれる銘柄だ。12月から取引の中心となる25年3月に満期を迎える先物は、この366回債がチーベストになる。ここで366回債の品不足が問題になる。日本の国債市場に詳しい東大の服部孝洋特任准教授は「国債の現物と先物の裁定が十分になされなくなっている。異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる

「チーベスト」と呼ばれる銘柄だ。12月から取引の中心となる25年3月に満期を迎える先物は、この366回債がチーベストになる。ここで366回債の品不足が問題になる。日本の国債市場に詳しい東大の服部孝洋特任准教授は「国債の現物と先物の裁定が十分になされなくなっている。異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる

「チーベスト」と呼ばれる銘柄だ。12月から取引の中心となる25年3月に満期を迎える先物は、この366回債がチーベストになる。ここで366回債の品不足が問題になる。日本の国債市場に詳しい東大の服部孝洋特任准教授は「国債の現物と先物の裁定が十分になされなくなっている。異次元緩和の後遺症が至る所で目につく。国債は年限と償還日、表面利率で銘柄が決まる。366回債は2022年4～6月に発行された10年債で、今発行されている376回債から10回号前に当たる。366回債は海外勢が日本国債を買い浴びせる